

令和6年度 情報経理専修コース 後期始業式 式辞(令和6年10月1日)

情報経理専修コースは、本科の3学期制と違い前期・後期の2学期制ということで、先週約1週間の秋休みを挟み、本日が後期のスタート、始業式となりました。前期は9月に入っても日差しが強くて体にこたえる本当に長い酷暑が続き長い夏になりましたが、皆さんは昼間お仕事や家事等熱中症対策をしながら、その後夕方、気温が下がらない状況下で本校に登校し授業を受けられることに本当に頭が下がる思いで一杯です。そして、先日、前期の生徒さん方の成績・登校状況を拝見しました。例年に比べ全体的に登校状況が良好で、授業教室や廊下に活気を肌で実感しております。少しでも快適な学習環境で・・・とこちらも全力で皆さんの学習をサポートしています。

私は、式辞を本校ホームページに掲載していますが、読まれた方もいらっしゃるかもしれませんが、この夏は米不足や国政・県政の話題でもちきりでしたが、パリオリンピックで感動したことを本科の2学期始業式式辞の中でも伝えました。パリオリンピックでは、10代の選手たちの躍動もあり海外大会として史上最多の45個のメダルを獲得しました。前回のコロナ禍での東京オリンピックでは無観客での開催でしたが、今回は有観客での実施で、敗者復活戦にまわり銅メダルを獲得した選手の「皆さんの応援のおかげで気持ちを立て直し、銅メダルを獲得できました」という言葉に象徴されますが、改めて観客の方の応援の力を感じる大会となりました。その中でも私が最も感動したのは体操男子団体戦の前回大会優勝でライバルの中国との決勝です。5名の選手が演技していくのですが誰もが厳しいという状況からの「奇跡の大逆転の金メダル」です。その「逆境の中でも絶対に諦めなければ夢叶う」という強い思いで、限られたチャンスの中で最後まで全力を出し切りやりきることの大切さを改めて実感しました。そのためには、たくさんの経験を含めた入念な準備とその準備を共にしてきた一人じゃなしえないチームの力がありませんでした。その意味を深く考えることが大切だと思います。ただ、今の10代の高校生はパリオリンピックを見ている生徒は少ない実態に少し残念な気もします。テレビ等通して映像を見て感動する体験をもっとしてほしいと思っています。

本校の特色有る取組、株式会社NAGAZONでは先週、長田神社前商店街で「秋祭り」を実施しました。天候が心配されましたが専修コースの方々にも卒業生の方も含めてお越しいただきありがとうございました。販売実習は例年6～12月にかけて商店街の一日市をはじめ神戸市内各所のイベントの中で実施していますが、株式会社NAGAZON設立以来3年目で初めて校外において株式会社NAGAZON単独実施となりました。一人でも多くのお客様に来店いただくために、チラシを作り商店街や区役所だけでなく、長田区内の小学校に配付し、お子様連れのお客様を中心に来店いただき成功裡に終わることができました。この後も神戸市内外で販売実習を実施予定です。また、兵庫県内外の複数の学校の販売実習でも本校の企画開発商品を取り扱っていただけるなど販路拡大が徐々にできております。専修コースの方も株式会社NAGAZONの

取組について、時間が許せば顔を出していただきどんご意見をいただけたら幸いです。

そして、後期には11月に通信制の青雲高校と合同で行う文化祭、「青雲長商ふれあい祭」が開催されます。専修コースの皆さんも模擬店を出店されると伺っていますので、専修コースの皆様のパワフルで手際よく店舗運営される姿を、経験が少ない本科の生徒がお手本としてくれたら嬉しく思います。11月3日文化の日に実施します。その前日2日(土)が準備となります。10月31日(木)及び11月5日(火)が代休となります。スケジュールの調整、何卒よろしくお願い致します。

これからようやく秋らしくなり、段々と日が短くなっていきますので、登校するのがつらい日もあるかもしれませんが、少しでも学ぶことが楽しいと思っていただけるよう職員一同頑張りますので後期もどうぞよろしくお願い致します。

何かご相談などありましたら、いつでもお待ちしております。

以上、後期始業式式辞とします。

10月1日

校長 松本秀孝